

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	学校法人 大阪音楽大学
公演団体名	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

内容
<p>授業時間の2コマを使用し、1コマ目は主にオーケストラに関するお話や楽器の紹介を中心に、2コマ目は本公演での共演曲目の事前指導を中心に行います。</p> <p><1コマ目></p> <ul style="list-style-type: none">・オーケストラのお話・楽器のお話、紹介・指揮のお話、体験コーナー・アンサンブル演奏 <p>－休憩－</p> <p><2コマ目></p> <ul style="list-style-type: none">・共演演目の事前指導 <p><u>A 吹奏楽・金管バンドでの共演の場合</u> オペラハウス管弦楽団から指導者を派遣し、合奏指導を中心に行います。</p> <p><u>B 合唱での共演の場合</u> プロのオペラ歌手を派遣し、発声法や体操などを取り入れながら歌唱指導を行います。</p>

タイムスケジュール（標準）				
例)				
8:10 学校到着、準備	8:40-10:10 リハーサル、本公演打合せ	10:40-12:15 ワークショップ	12:15-12:30 後片付け	12:35 学校出発
<p>※上記タイムスケジュールはあくまでも予定ですので、若干変更の可能性はあります。 ※実施校ごとにスケジュールは異なりますので、事前に必ずお打合せさせていただきます。 ※ワークショップは、前半のオーケストラのお話や楽器紹介、ミニコンサートなどで45～50分、後半の共演曲指導で45～50分使用いたします。</p>				

派遣者数
主指導者(1名)、指導者(4名)、スタッフ(1名)

学校における事前指導

事前にワークショップに関する資料(楽譜など)をお送りいたしますので、別途お打合せさせていただきます。

事前指導についてはそれぞれ学校によって事情も異なりますので、基本的には各学校の先生方にお任せしております。打ち合わせの際に現状を確認させていただき、状況に応じた内容でワークショップを実施いたします。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書

制作団体名	学校法人 大阪音楽大学
公演団体名	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

演目			
● オープニング	ワーグナー / 歌劇「ローエングリン」より 第3幕への前奏曲		
● 楽器紹介	弦楽器・管楽器・打楽器をお話しと演奏を交えながら紹介していきます。		
● オペラ・アリアより	プロの歌手達による歌声を女性・男性2曲続けてお届けします		
● オペラ・デュエットより	プロの歌手達によるオペラ・デュエット曲をお届けします。 レハール / 喜歌劇「メリー・ウイドウ」より “ワルツ”(予定) 休憩 10～15分		
● 校歌合唱	オーケストラの華やかな伴奏で校歌を元気に歌いましょう！！		
● 指揮者体験コーナー ～オーケストラの指揮に挑戦♪	ビゼー / 歌劇「カルメン」より 前奏曲		
● 共演コーナー（下記 A～C から共演希望曲を1曲選択）	オーケストラと一緒に演奏してみよう！！		
<table border="1"><tr><td>A 吹奏楽部・金管バンドとの共演 ウィルソン / 76本のトロンボーン ヤン・ヴァンデルロースト / アルセナール スーザ / 星条旗よ永遠なれ</td><td>B 合唱共演 杉本竜一 / ビリーヴ 久石 譲 / 君をのせて 村井邦彦 / 翼をください 松井孝夫 / マイ バラード</td></tr></table>		A 吹奏楽部・金管バンドとの共演 ウィルソン / 76本のトロンボーン ヤン・ヴァンデルロースト / アルセナール スーザ / 星条旗よ永遠なれ	B 合唱共演 杉本竜一 / ビリーヴ 久石 譲 / 君をのせて 村井邦彦 / 翼をください 松井孝夫 / マイ バラード
A 吹奏楽部・金管バンドとの共演 ウィルソン / 76本のトロンボーン ヤン・ヴァンデルロースト / アルセナール スーザ / 星条旗よ永遠なれ	B 合唱共演 杉本竜一 / ビリーヴ 久石 譲 / 君をのせて 村井邦彦 / 翼をください 松井孝夫 / マイ バラード		
● オーケストラ演奏	エルガー / 行進曲「威風堂々」第1番		
◆ アンコール	ヴェルディ / 歌劇「椿姫」より “乾杯の歌”		
※ 上記プログラムは一部変更になる可能性もあります。			
公演時間 約90分			

派遣者数

■出演者

指揮 牧村 邦彦 または 新通 英洋 または 横島 勝人 または 栗辻 聡 (予定)

歌と司会 内藤 里美(ソプラノ) または 北野 智子(ソプラノ) または 端山 梨奈(ソプラノ) (予定)
と
清原 邦仁(テノール) または 福嶋 勲(バリトン) または 島影 聖人(テノール) (予定)

※2021年4月30日現在 調整中の為、どの指揮者・歌手になるかは未定です。

管弦楽 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 (64名)

■事務局 (5名)

チーフマネージャー	黒飛 雅之	ステージマネージャー	曾田 健
オーケストラマネージャー	木全 美和	ライブラリアン	入佐 紬
舞台スタッフ	未定		

■舞台スタッフ (3名)

エスエス企画 (予定)

タイムスケジュール (標準)

14:00 開演の場合

8:30-11:00	11:00	12:00-12:30	13:30	14:00-15:30	15:30-17:30
楽器搬入・仕込み	楽団到着・音だし・打合せ	リハーサル	開場	本公演	バラシ・楽器搬出

※上記タイムスケジュールはあくまでも予定ですので、若干変更の可能性はあります。

※実施校ごとにスケジュールは異なりますので、事前に必ずお打合せさせていただきます。

実施校への協力依頼人員

楽団所有の楽器等の搬入・搬出に関しては原則楽団の方で行います。

ただし、体育館が2階以上にある場合や搬入・搬出の経路が長い場合はお手伝いをお願いすることもありますので、その場合は別途お打合せさせていただきます。

演目解説

歌劇「ローエングリン」より 第3幕への前奏曲

演奏会のオープニングは、ワーグナー作曲の歌劇「ローエングリン」より第3幕への前奏曲で華やかにスタートいたします。全奏による爆発的な序奏は演奏会の幕開けにふさわしく子供たちをオーケストラの世界へグッと惹きつけます。

オペラ・アリア

オーケストラの楽器紹介で楽しく会場が盛り上がった後は一息おいて、プロの歌手達による女性・男性それぞれの歌声によるオペラ・アリアを聴いて頂きます。オーケストラの楽器とは違い身体が楽器となる声楽家の会場一杯に響き渡る甘く美しい歌声や表情と華やかな衣装などにも注目してみてください。

喜歌劇「メリー・ウイドウ」より “ワルツ”

ハンガリーに生まれドイツやオーストリアで活躍したレハールは、喜歌劇「メリー・ウイドウ」の成功によって一躍人気の作曲家になりました。“ワルツ”は、劇中のクライマックスで歌われる、男性(ダニロ)と女性(ハンナ)の二重唱です。ダニロは元恋人だったハンナへ改めて愛の告白をし、ハンナもそれに応えます。二人が愛を確かめ合うような、甘く美しいメロディーの音楽です。

歌劇「カルメン」より 前奏曲

歌劇「カルメン」はフランスの作曲家ビゼーが作曲したオペラで、前奏曲は演奏会のアンコールなどでもよく演奏される有名な曲です。冒頭のテーマは、4幕の闘牛士の入場の行進の場に出きます。

「76本のトロンボーン」

「76本のトロンボーン」は、ミュージカル「ミュージック・マン」に使用されている行進曲です。同ミュージカルの代表的な曲の1つであり、2度の映画化のときにも使用されています。曲中にはスーザの「星条旗よ永遠なれ」や「ワシントン・ポスト」、バグリーの「国民の象徴」などの有名な行進曲の旋律が登場します。

「アルセナール」

ベルギーの作曲家ヤン・ヴァンデルロストが作曲した吹奏楽編成の行進曲です。ベルギー鉄道備蓄所吹奏楽団の50周年を記念して1995年に作曲された作品で、魅力的な祝典コンサート・マーチです。

「星条旗よ永遠なれ」

元アメリカ海兵隊音楽隊隊長のジョン・フィリップ・スーザが作曲した行進曲の1つで、最もよく知られている曲です。アメリカ人の愛国心の象徴とも言える行進曲で、1987年12月にはアメリカ合衆国の「国の公式行進曲」(National March)に制定されました。

「ビリーヴ」

「BELIEVE(ビリーヴ)」は、杉本竜一が作詞・作曲した楽曲です。NHK番組「生きもの地球紀行」の3代目エンディングテーマとして1998年に発表されましたが、主に小学校や中学校の合唱の定番曲として人気があり、卒業式の歌としてよく歌われています。

「君をのせて」

ジブリアニメ「天空の城ラピュタ」のエンディングテーマとして作られた曲ですが、合唱曲としてもよく歌われており、幅広い世代に親しまれ誰もが知っている有名な曲です。莫大な財宝が眠るといふ空中の浮島「ラピュタ」を探しに冒険の旅に出る少年パズーと、少女シータを描いた冒険アニメ「天空の城ラピュタ」は宮崎駿が手掛けたジブリ作品の中でもとても人気がある作品です。

「翼をください」

「翼をください」は山上路夫が作詞、村井邦彦が作曲した曲で、元々はフォークグループ「赤い鳥」が歌い有名になった曲です。1970年代に教科書で採用されてから有名になり、学校教育の場でも合唱曲としてよく採り上げられています。今では日本国内老若男女に親しまれている曲の一つです。

「マイ パラード」

松井孝夫が作詞・作曲した合唱曲です。彼のデビュー曲でもあるこの曲は幅広い世代から支持されており、卒業式や合唱のコンクールなどでよく歌われる人気合唱曲の一つです。曲の途中ででてくる三連符のメロディーが印象的です。

行進曲「威風堂々」第1番

イギリスの作曲家エドワード・エルガーが作曲した行進曲。行進曲「威風堂々」第1番は彼の全作品中最も有名な曲で、現在でも様々な演奏会で盛んに演奏されています。堂々としたマーチの主題と、トリオからの美しいメロディーが印象的な作品です。

歌劇「椿姫」より“乾杯の歌”

歌劇「椿姫」は、イタリアを代表し「歌劇王」とも呼ばれているイタリアの作曲家ヴェルディの人気のある作品の一つです。“乾杯の歌”は、賑やかなパーティの場面で、「乾杯しよう・・・」と歌われる曲で、コンサートのアンコールとしても良く演奏される、情熱的で華やかな音楽です。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

コンサートの後半に3つのコーナーを用意し児童・生徒の皆さんに参加していただきます。

校歌合唱

校歌をオーケストラ版にアレンジし、生のオーケストラの伴奏で児童・生徒の皆さんに歌っていただきます。

指揮者体験コーナー

オーケストラの指揮に挑戦していただきます。指揮棒の動きに合わせて出てくるオーケストラの音の強弱やテンポ(速さ)の違いなど間近で体感していただきます。

共演コーナー

吹奏楽・金管バンドとの共演または合唱共演の中から1曲を選択し、オーケストラと一緒に共演していただきます。

※2021年4月30日現在、実施校と日程および共演曲の選択について調整中の為、どの曲になるか未定です。

児童生徒とのふれあい

- ワークショップ開催時に指導者を派遣し、共演曲目の事前指導やオーケストラのお話・楽器紹介などを中心に行います。子どもたちに音楽に対して少しでも興味を持ってもらい、より充実した本公演になるよう努めてまいります。
- 本公演では実際にオーケストラと共演し、アンサンブルの難しさや共演できる喜びを味わっていただき、常に児童・生徒と一緒に楽しめる公演を目指していきます。
- 指揮者体験コーナーではオーケストラの指揮に挑戦し、目の前で鳴り響くオーケストラのサウンドを一番間近な場所で体感してもらいます。

